

と考えられます(仲地2006)。そのため、日ごとの動員数についてはもっと多かった可能性があります。

また、工事中、国頭方では夫役が命じられた影響で商売のための竹木を運送することが禁じられていました。そのために首里や那覇では薪木が届かず不足する事態となりました。11月11日、改修工事もおおかた完了し、名護・恩納・久志の3間切に課されていた夫役もわずかとなっていった

表『羽地大川修補日記』にみる恩納間切からの動員日

動員日	動員された間切	動員人数
9月6日	恩納、国頭、伊江	317人
9月7日	恩納、国頭、伊江	425人
9月8日	恩納、久志、今帰仁、伊江	513人
9月16日	恩納、今帰仁、久志、伊江	1056人(男夫734人、女322人)
9月17日	恩納、今帰仁、金武、久志、伊江	1297人(男夫964人、女333人)
9月18日	恩納、羽地、名護、伊江	1483人(男夫1157人、女326人)
9月19日	恩納、羽地、名護、久志、伊江	1459人(男夫1116人、女343人)
9月20日	恩納、羽地、名護、久志、大宜味、伊江	1356(ママ)(1352)人(男夫1029人、女323人)
9月21日	恩納、羽地、名護、久志、大宜味、伊江	1456人(男夫1113人、女343人)
9月22日	恩納、羽地、大宜味、国頭、金武、伊江	1454(ママ)(1447)人(男夫1101人、女346人)
9月23日	恩納、羽地、大宜味、国頭、金武、伊江	1418人(男夫1105人、女313人)
9月24日	恩納、名護、羽地、今帰仁、大宜味、国頭、金武、久志、伊江	1885人(男夫1399人、女486人)
9月29日	国頭10間切	1474人(男夫1340人、女134人)
10月22日	伊江、羽地、久志、恩納	1580人(男夫1514人、女66人)
10月23日	恩納、羽地、久志、伊江、国頭	1596人(男夫1544人、女52人)
10月24日	恩納、羽地、久志、伊江、国頭	1612人(男夫1523人、女89人)
10月25日	恩納、羽地、久志、伊江、国頭	1896人(男夫1800人、女96人)
11月4日	伊江、金武、久志、今帰仁、恩納、羽地、大宜味、国頭	2286人(男夫2040人、女246人)
11月5日	伊江、金武、久志、恩納、名護、今帰仁、大宜味、国頭	2118人(男夫1972人、女146人)
11月6日	伊江、金武、久志、恩納、名護、今帰仁、大宜味、国頭	2198人(男夫2011人、女187人)
11月7日	伊江、金武、久志、恩納、名護、今帰仁、大宜味、国頭	2337人(男夫2136人、女201人)
11月8日	伊江、金武、久志、恩納、名護、今帰仁、大宜味、国頭	2170(ママ)(2270)人(男夫2077人、女193人)
11月11日	伊江、恩納、名護、本部、今帰仁、羽地、金武、久志	1885人(男夫)

※「女」は「男夫」の半数として数えられたため、上の表の「女」の数は実際に動員された女性の人数の半数だと考えられます。

恩納間切の人夫総数と仕事内容

人夫総数7497人(内 現夫 5444人 いぬまん取夫 874人 杭木取夫 1179人)
いぬまん874束 杭木5319本

【参考文献】

- ・仲松弥秀『恩納村誌』(1980年)
- ・名桜大学『琉球文学大系』編集刊行委員会『琉球史関係史料1『球陽』上』(琉球文学大系28) 2023年 ゆまに書房
- ・名護市教育委員会文化課市史編さん係『羽地大川修補日記』(名護市史・資料編5/文献資料集1) 2003年 名護市役所
- ・仲地哲夫「琉球史における民衆の役割(四)」『南島文化』第28号 2006年 沖縄国際大学南島文化研究所
- ・「羽地大川一山の生活誌」調査編集委員会『羽地大川一山の生活誌』 1996年 北部ダム事務所・名護市
- ・沖縄県教育委員会文化課『沖縄県歴史の道調査報告書Ⅲ 国頭・中頭方西海道(Ⅱ)』 1980年 緑林堂出版
- ・沖縄大百科事典観光事務局編『沖縄大百科事典』下巻 1983年 沖縄タイムス社

ことから、この3間切の竹木商売が解禁されました。

工事完了後、11月17日に蔡温と役人たちは多野岳へ上って、周りの山々の様子を視察し、翌18日に羽地間切を発ちました。その日は恩納番所に一泊し、19日に恩納番所を出発して北谷番所に一泊。20日の昼過ぎ浦添番所に到着したところで国王によって出迎えられ労われたそうです。

(幸喜)